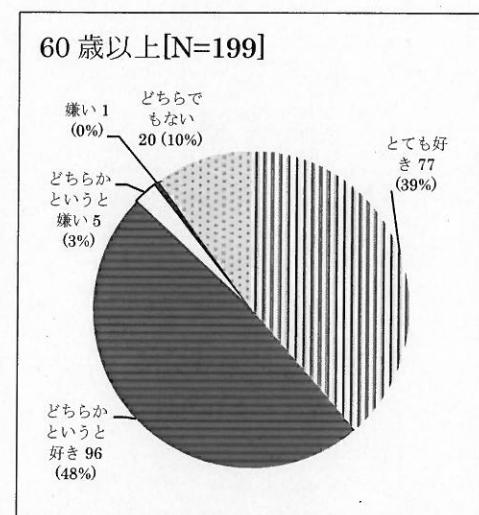
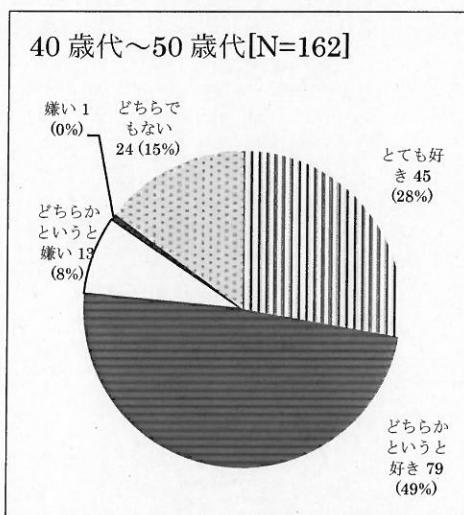
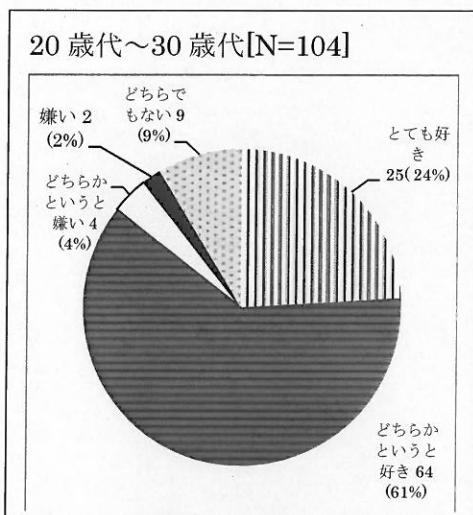
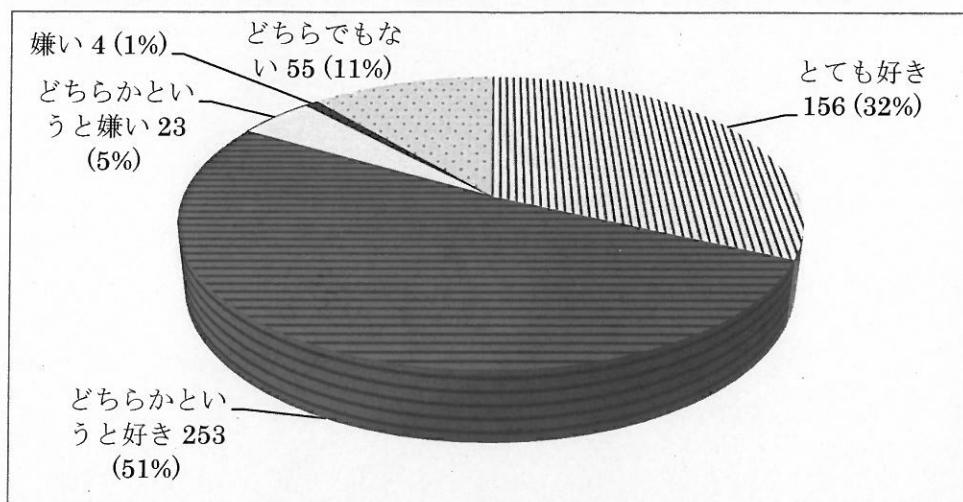


魚食の普及等に関する市民アンケート 設問別分析①

質問：あなたやあなたのご家族は、魚を食べるのが好きですか？ [N=491]



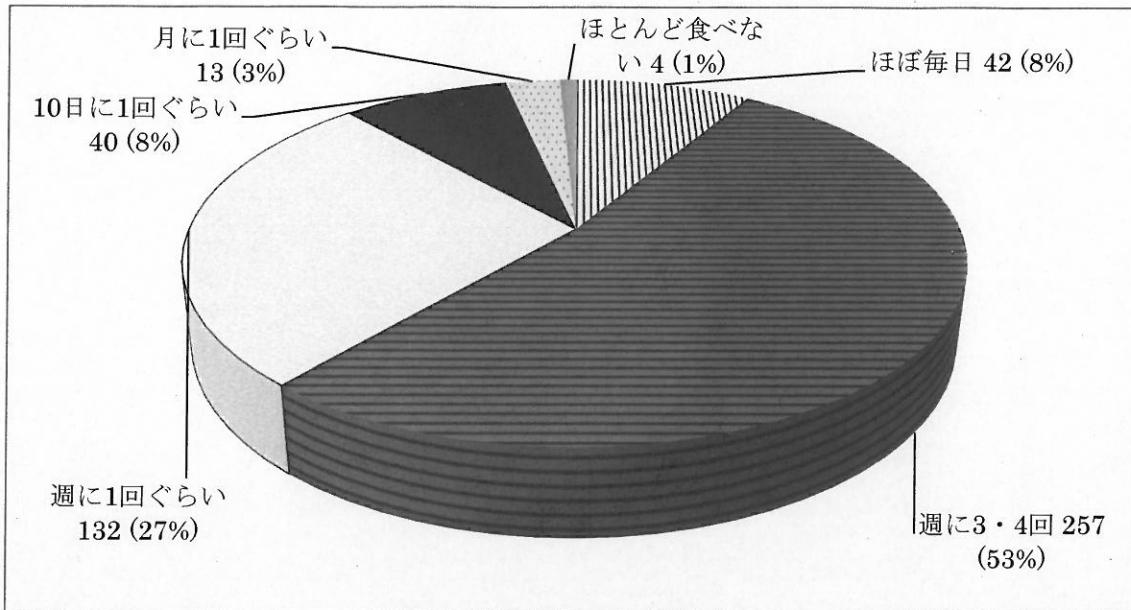
【設問別の傾向】

- ─ 全体の約83%が「魚好き」であり、中でも1/3は「とても好き」と答えている。
- ─ 世代別にみると、20歳～30歳代と40歳～50歳代とは好き嫌いの傾向がほとんど同じであり、それぞれ「とても好き」が25%であるものの、約8割が「魚好き」である。60歳以上では、約40%が「とても好き」と答えている。

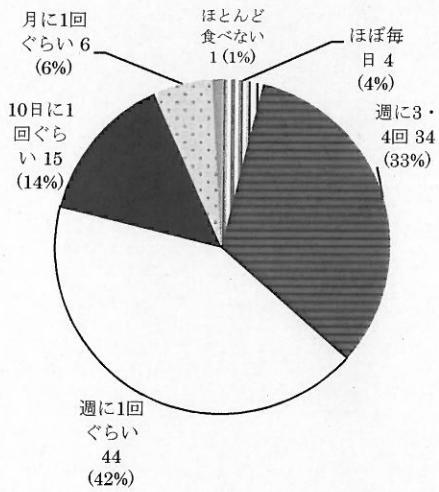
【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

- ─ 平成18年度に実施したアンケートでも全体の約86%が「魚好き」であり、今回のアンケートと比較するとほぼ同じ割合となっている。年代別に見ても同じ傾向となっている。

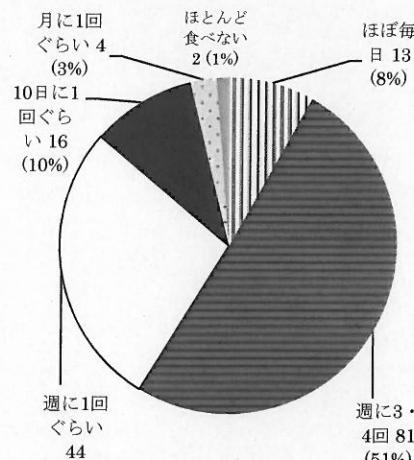
質問：あなたのご家庭では、主なおかずとして、どのくらいの割合で魚を買って食べますか？ [N=484]



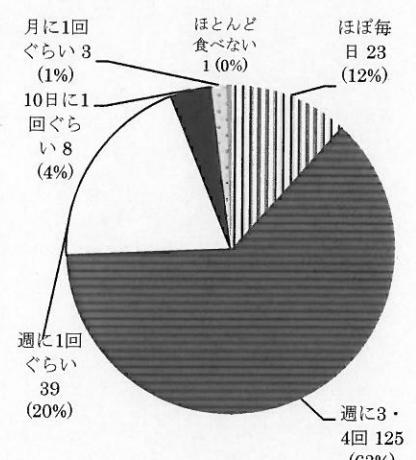
20歳代～30歳代[N=103]



40歳代～50歳代[N=158]



60歳以上[N=198]

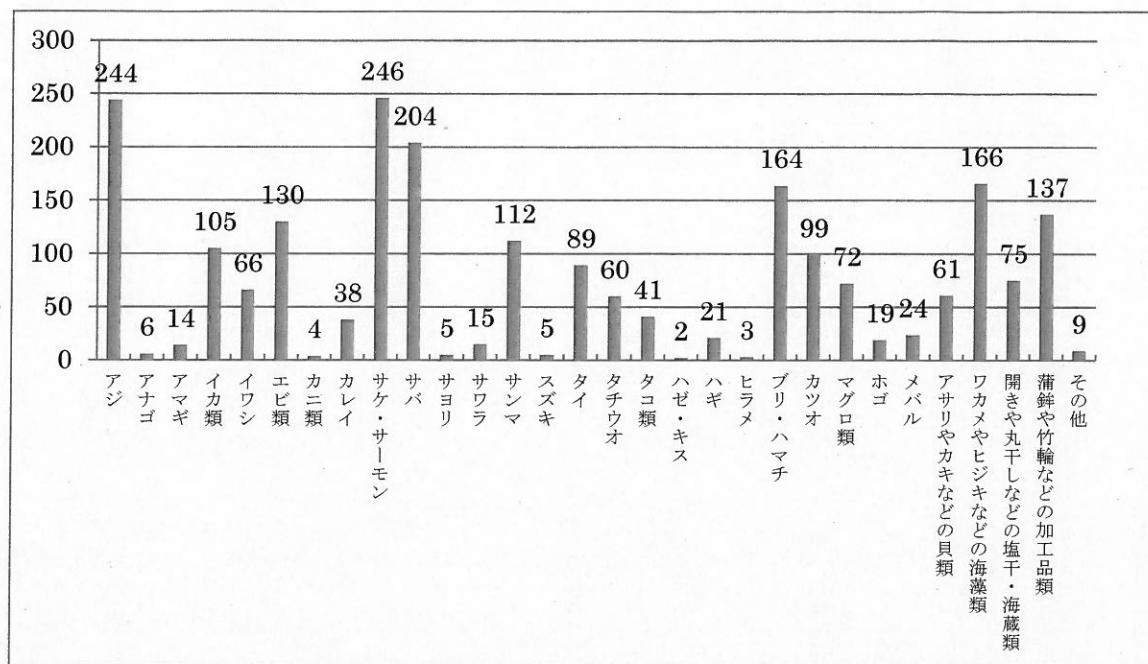


【設問別の傾向】

全体で見ると約60%の家庭が「週3日以上」魚を食べている。

世代別にみると、20歳～30歳代は約37%、40歳～50歳代は約59%、60歳以上は約75%が「週3日以上」魚を食べていると答えており、年をとればとるほど魚を食べる機会が増える傾向にあり、20歳～30歳代と60歳以上では、約2倍の差が出た。

質問：あなたの家庭でよく食べる魚介類はどれですか？（5つまで）[N=447]



○世代別 良く食べる魚ベスト5

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
1位	ワカメ等	サケ類	サケ類	アジ・サケ類	アジ
2位	サケ類	サバ	サバ	サバ	サバ
3位	サバ	ワカメ等	ブリ類	ブリ類	サケ類
4位	アジ	エビ類	蒲鉾等	エビ類	ブリ類
5位	サンマ・ブリ類	蒲鉾等	アジ	ワカメ等	ワカメ等

○小学生までの子供の有無別 良く食べる魚ベスト5

	1位	2位	3位	4位	5位
子供がいる	サケ類	サバ	ワカメ等	蒲鉾等	アジ
子供がない	アジ	サケ類	サバ	ブリ類	ワカメ等

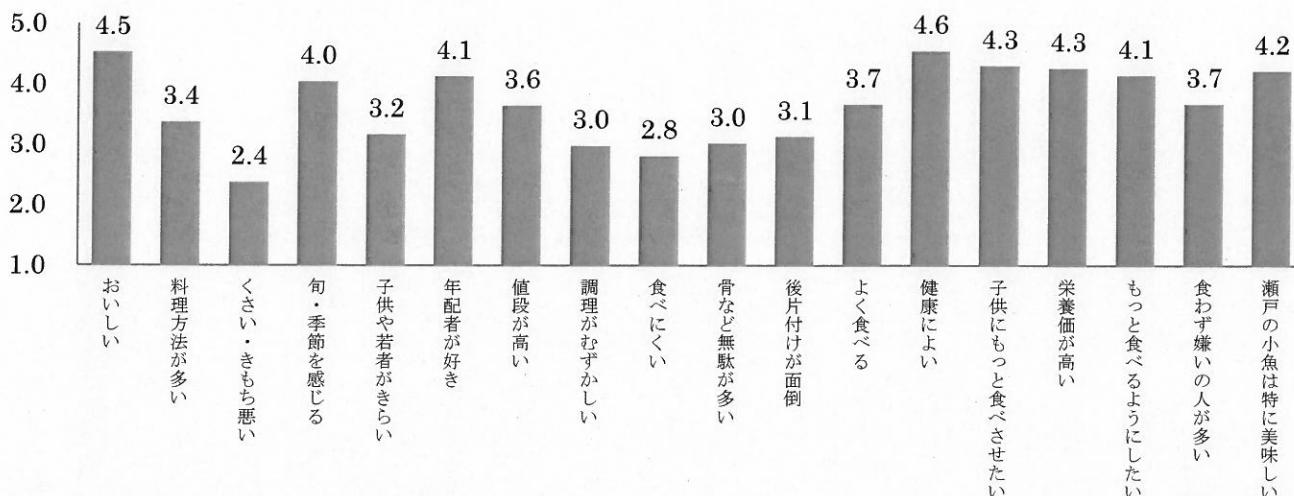
【設問別の傾向】

良く食べている鮮魚ベスト3は、「アジ」「サケ類」「サバ」であり、次に「ブリ類」「ワカメ等の海藻類」が横並びで食べられている。世代別で見ると、「サケ類」「サバ」はどの世代にも人気がある。また、「アジ」に関しては、50歳代以上に好まれる傾向にある。さらに、「アジ」は、小学生の子供がいる世代よりもいない世代の方が好まれていることも見て取れる。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

良く食べる鮮魚ベスト3は、前回と同一になっており、世代別にみても傾向自体はあまり変化はない。元々若い世代に人気がある「サケ類」は50歳代以上でも人気が上がっている。

質問：あなたの「魚」や「魚を食べること」に対するイメージは？ [N=495]



○世代別 魚に対するイメージ（共感）ベスト5

	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代以上
1位	おいしい	おいしい	健康によい	健康によい	健康によい
2位	健康によい	健康によい	おいしい	おいしい	おいしい
3位	子供にもっと食べさせたい	子供にもっと食べさせたい	子供にもっと食べさせたい	子供にもっと食べさせたい	瀬戸の小魚は特に美味しい
4位	栄養価が高い	もっと食べるようになつた	栄養価が高い	栄養価が高い	栄養価が高い
5位	もとつ食べるようになつた	栄養価が高い	もとつ食べるようになつた	瀬戸の小魚は特に美味しい	子供にもっと食べさせたい

○タイ 1匹から刺身ができるできない別 魚に対するイメージ（共感）ベスト5

	1位	2位	3位	4位	5位
できる	おいしい	健康によい	瀬戸の小魚は特に美味しい	子供にもっと食べさせたい	栄養価が高い
できない	健康によい	おいしい	子供にもっと食べさせたい	栄養価が高い	もとつ食べるようになつた

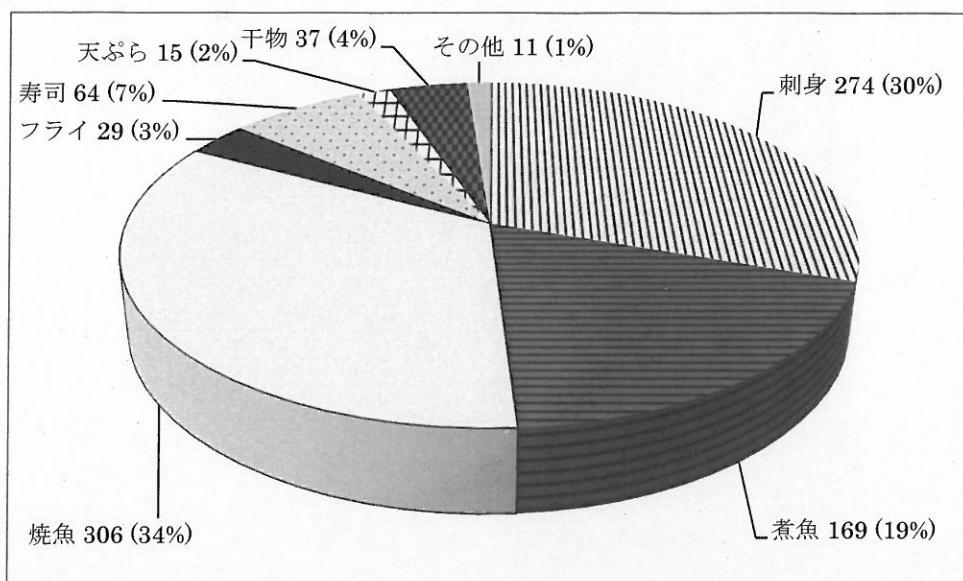
【設問別の傾向】

魚や魚食に対しては、「健康によい」「おいしい」「栄養価が高い」といった好イメージが多い。また、「くさい・きもち悪い」「調理がむずかしい」「食べにくい」などのマイナスイメージは意外と少ない。世代別にみると、全世代を通じて「健康によい」「おいしい」と感じられている。また、50歳以上では、「瀬戸の小魚は特に美味しい」など自分自身が実際に食べていることによる主観的なイメージが強い。このことは、魚を捌ける人と捌けない人でも類似の傾向にある。

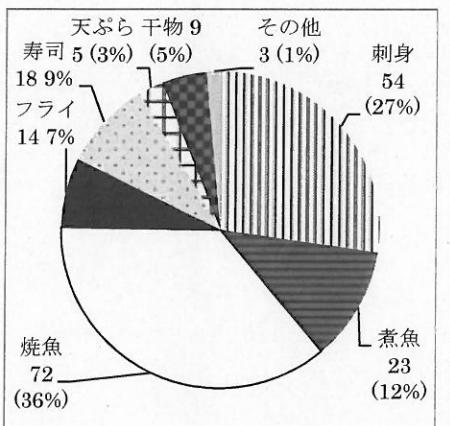
【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体の傾向は同じであるが、新たに設問した「子どもにもっと食べさせたい」や「栄養価が高い」が全世代でトップ5に入っている。

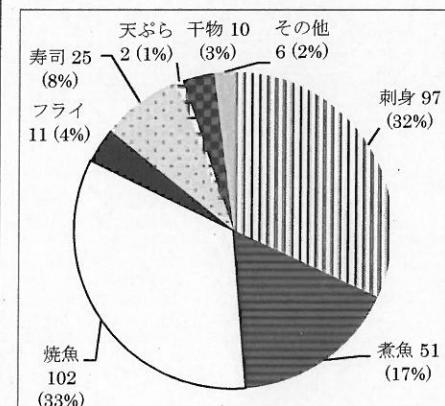
質問：あなたのご家庭でよく食べる魚料理は何ですか？（2つまで）[N=452]



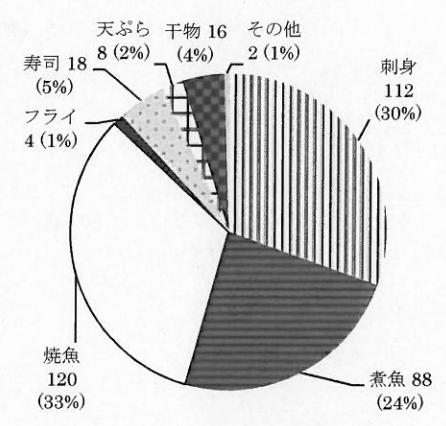
20歳代～30歳代[N=104]



40歳代～50歳代[N=162]



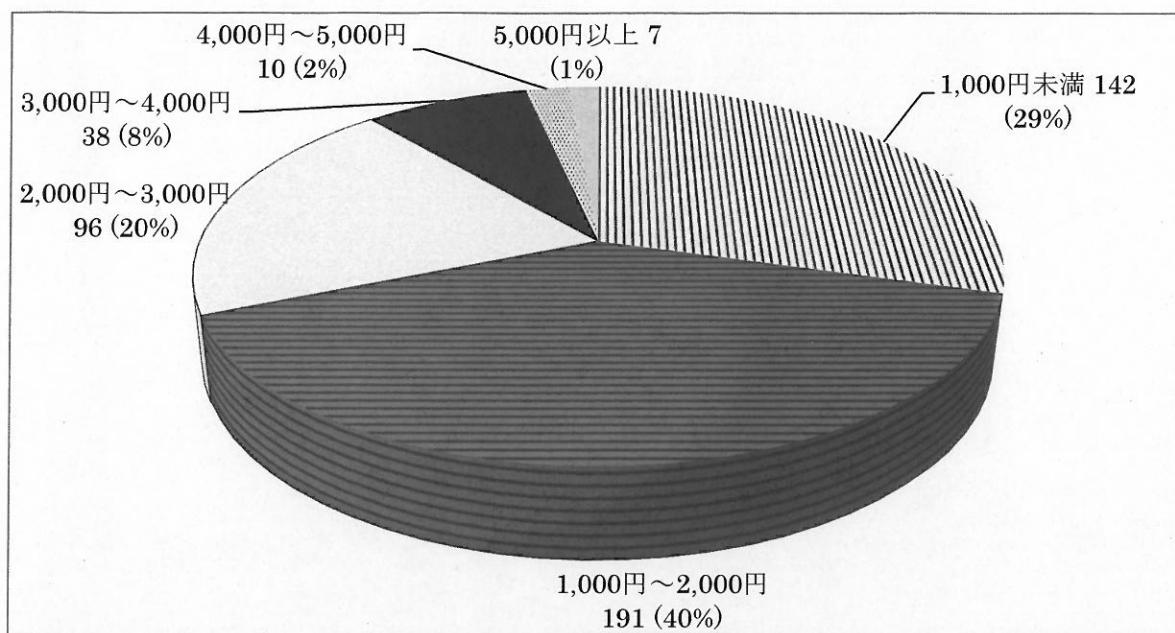
60歳以上[N=199]



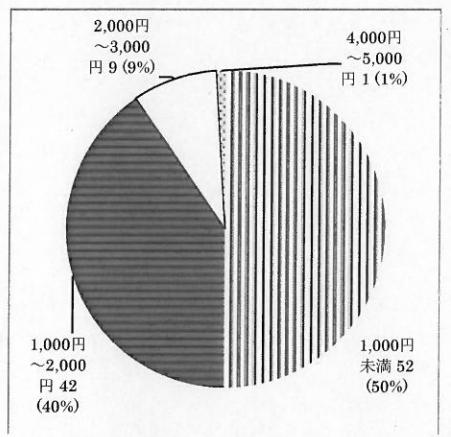
【設問別の傾向】

- 全体で見ると約53%が煮魚や焼き魚をよく食べており、刺身や寿司は37%にとどまっており、この傾向は世代間で大差がない結果となった。
- また、焼き魚は世代間での食する比率は大差がなかったが、煮魚は60歳以上の半分しか20～30歳代は食していない。フライについては、60歳以上と比べ、20～30歳代は大幅に好んでいることがわかる。

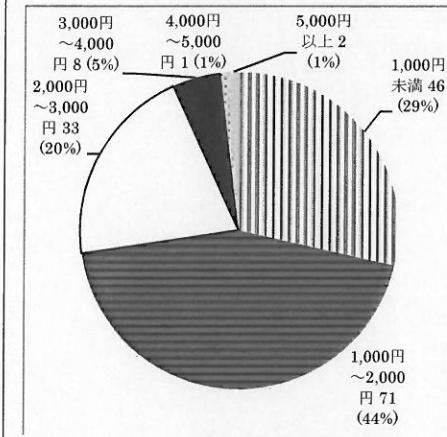
質問：あなたのご家庭では、1週間の魚の購入にいくらぐらい使っていますか？ [N=484]



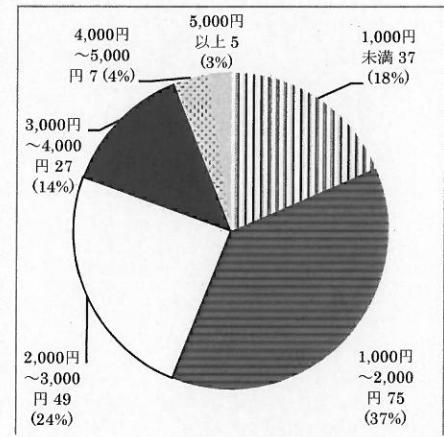
20歳代～30歳代[N=104]



40歳代～50歳代[N=161]



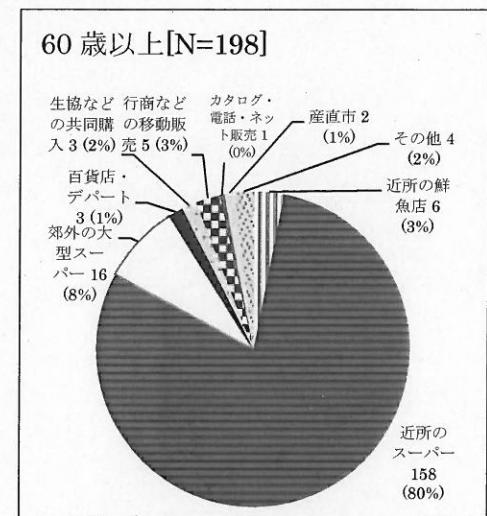
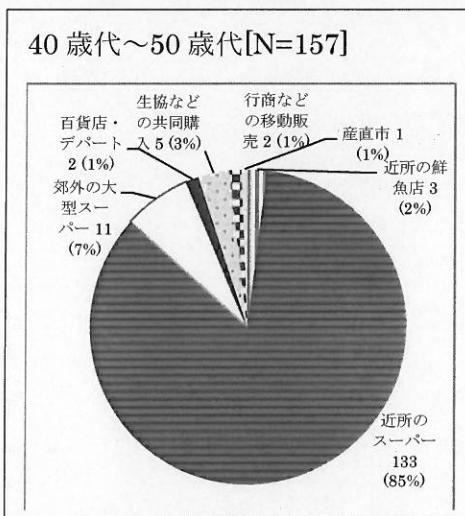
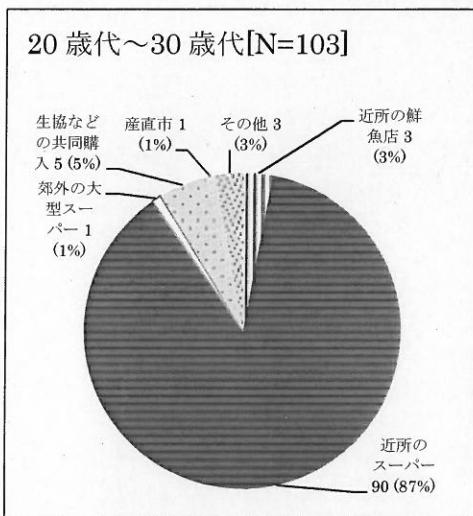
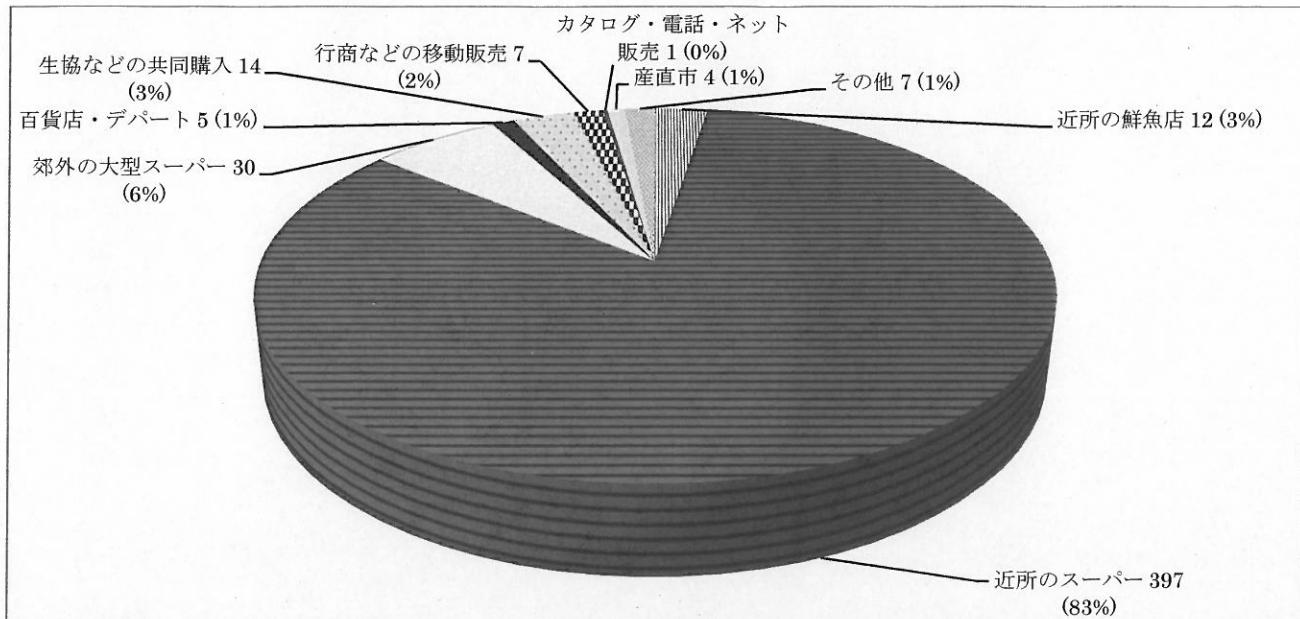
60歳以上[N=200]



【設問別の傾向】

全体で見ると約69%の人が週に2,000円未満しか魚を購入していない。年齢別にみると20代では1週間で1,000円未満しか使ってない人が約半数であるが、60代以上では1,000円未満しか使っていないのは約20%と年代が上がるにつれて魚の購入金額が増えていることがわかる。

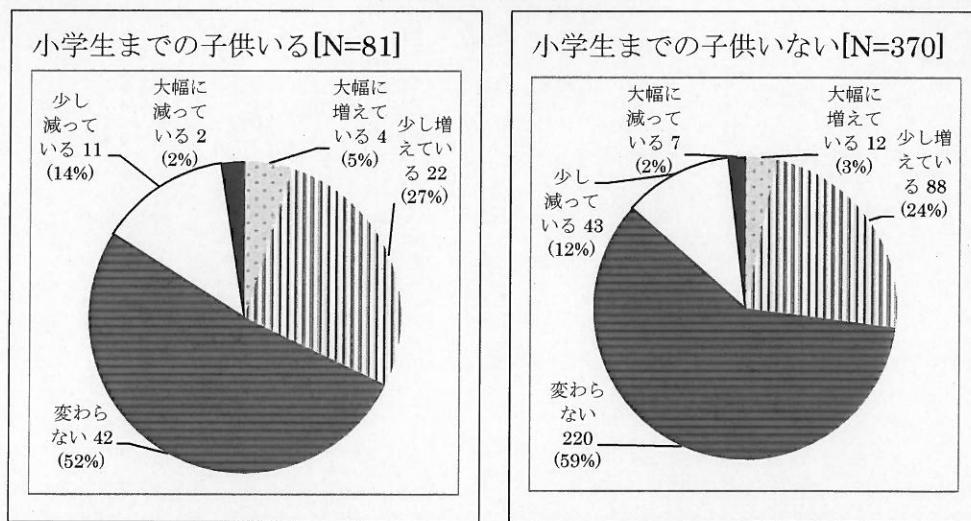
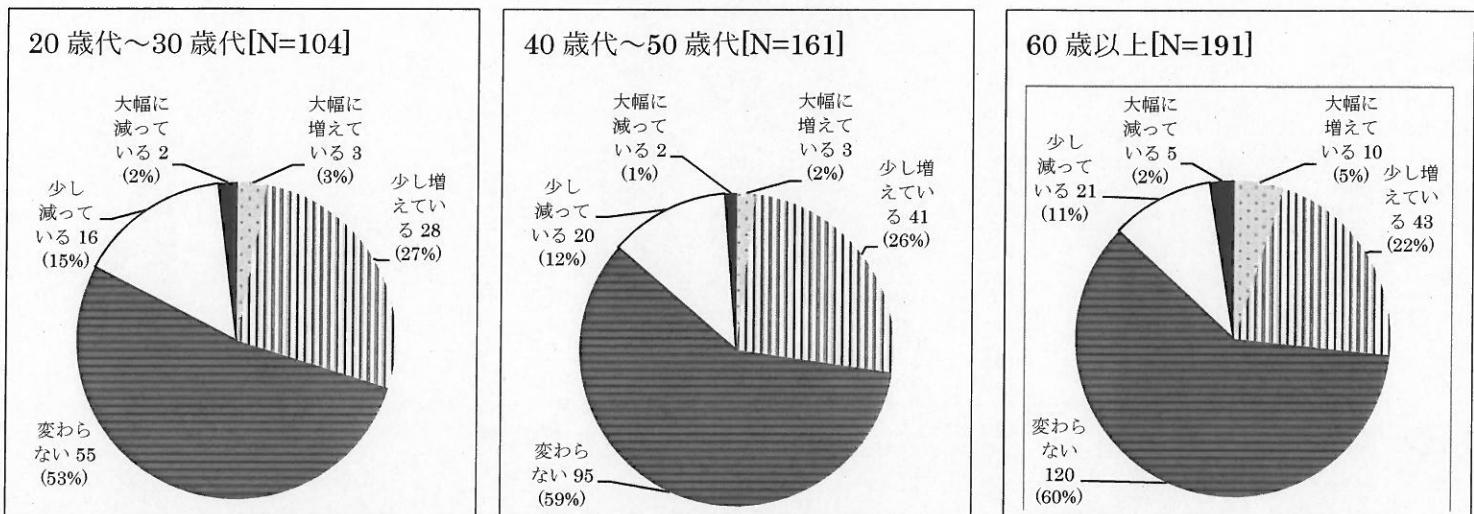
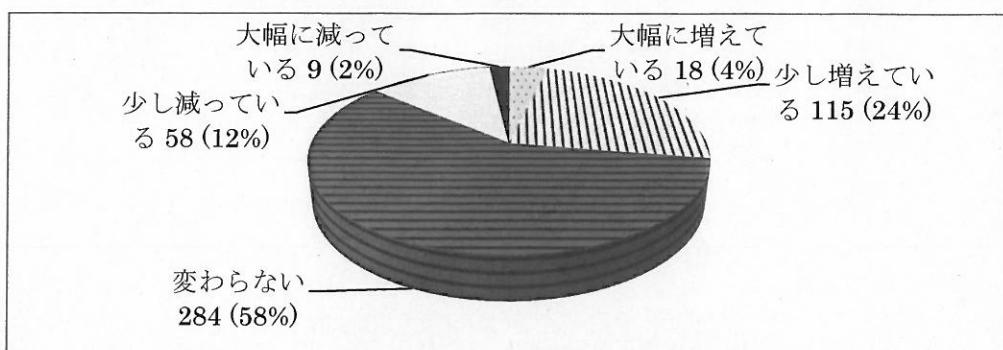
質問：魚は主にどこで買いますか？ [N=477]



【設問別の傾向】

- | 全体で見ると約80%の家庭がスーパーで魚を購入している。世代別にみても、ほとんどが近所のスーパーで魚を購入しており、近所の鮮魚店で魚を購入するのは、どの世代でも約3%程度しかいない。

質問：3年前と比べて、ご家庭で魚を食べる回数（量）は変わりましたか？ [N=484]



【設問別の傾向】

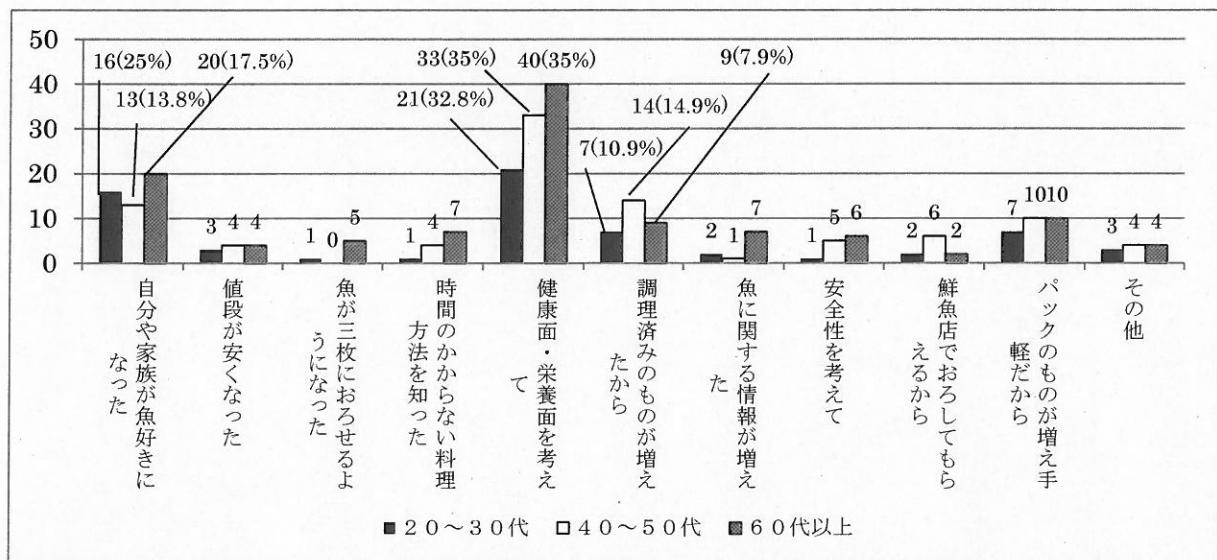
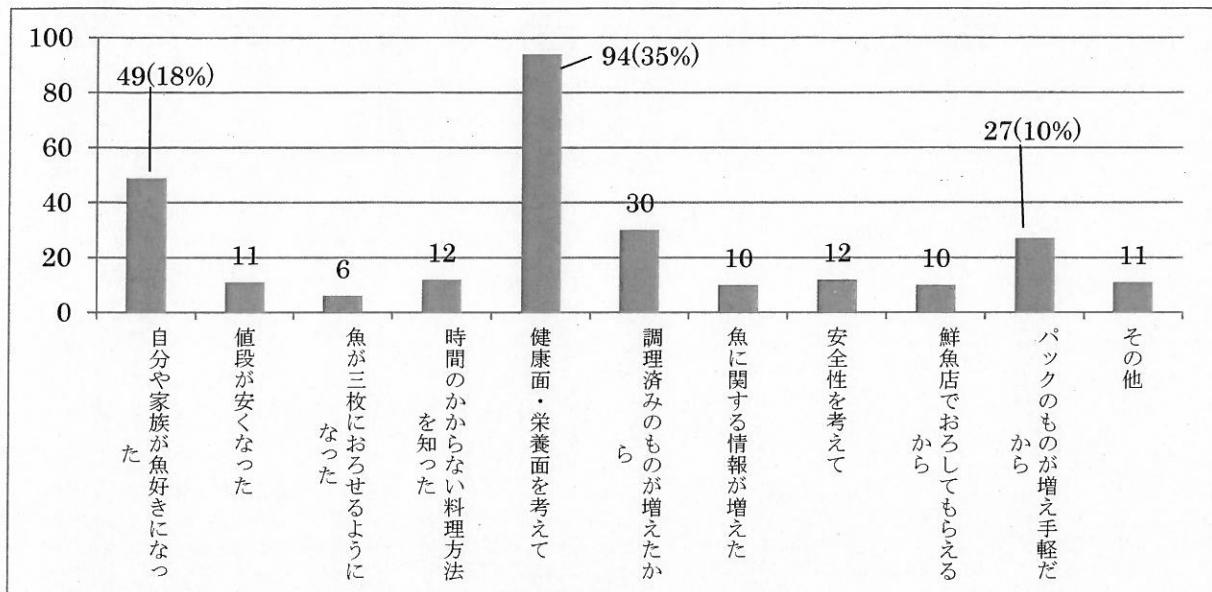
約半数の家庭では、ここ3年間における魚を食べる回数に変化がないものの、増減のあった残りの半数の家庭を比較してみると「増加傾向にある家庭」が「減少傾向にある家庭」に比べ約2倍多くなっている。

これを世代別にみると、「増加傾向」にあるのは、魚好きである60歳以上の家庭よりも、50歳代までの家庭で多く見受けられ、このことは、60歳以上の家庭では、既に多くの魚を食べている等の理由から、今以上に魚を食べる回数を増やす余地が少ないと推測できる。また、「小学生までの子供がいる家庭」は「いない家庭」に比べ、増加傾向（5ポイント差）にあり、子どもの健康を配慮していることがうかがえる。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体的な傾向としては変わってはいない。ただし、平成18年度と比べると増加の幅が（10ポイント程度）減少している。

質問：魚を食べる回数（量）が「大幅に増えている」「少し増えている」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？（3つまで）[N=122]



【設問別の傾向】

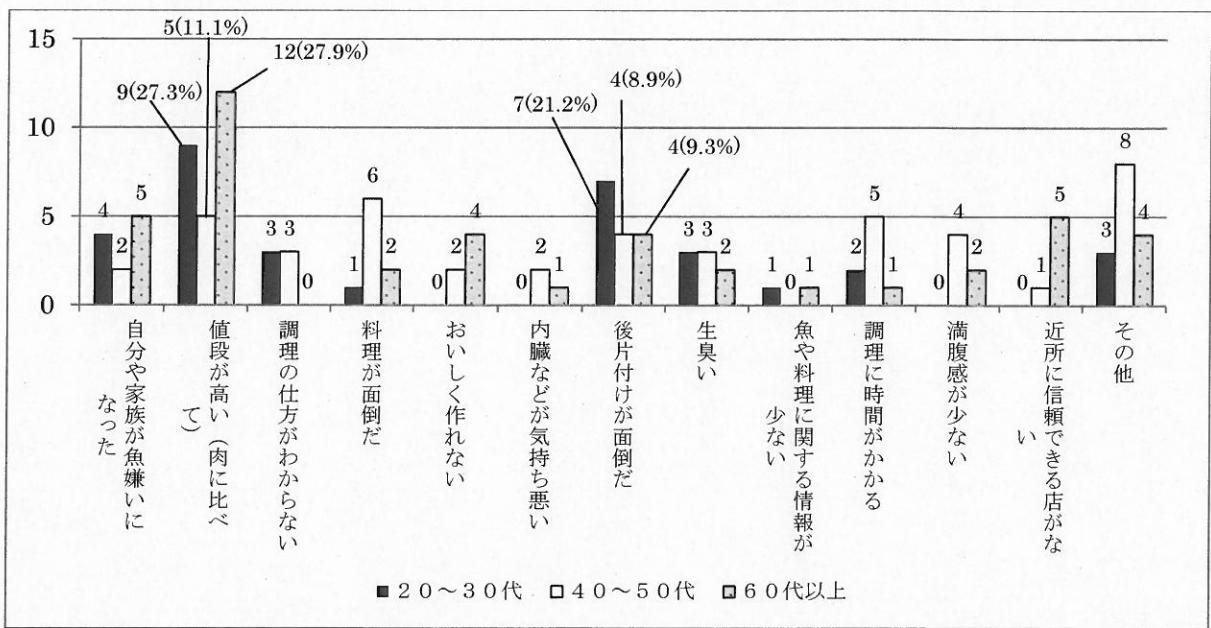
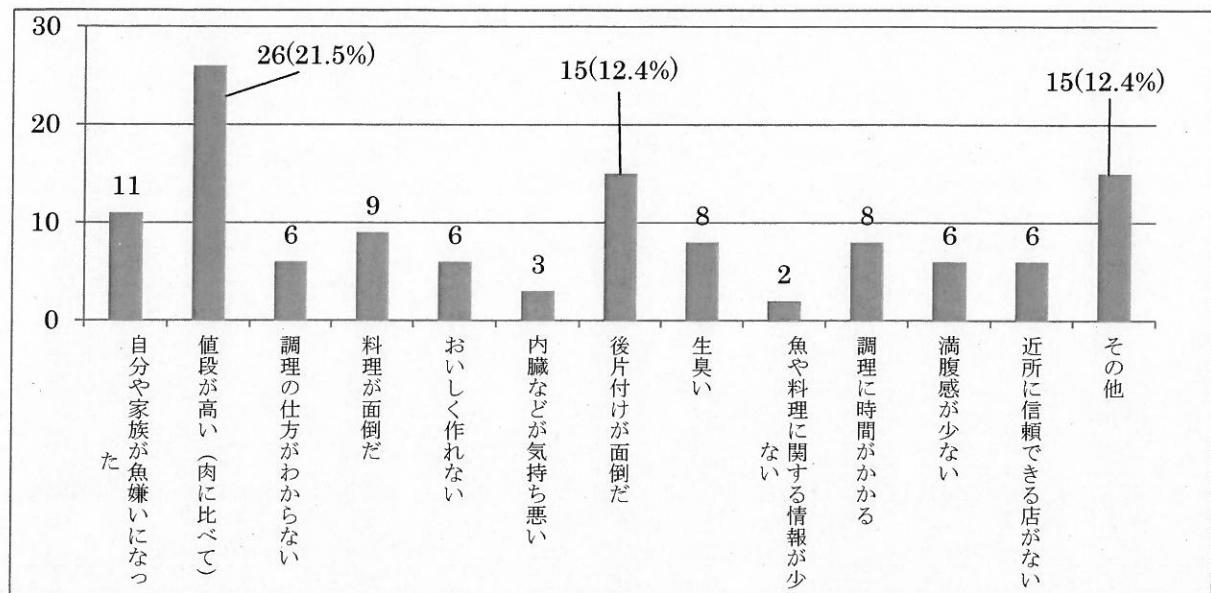
魚を食べる量が増えた理由として、「健康面・栄養面を考えて」が最も多く、次に「自分や家族が魚好きになった」となっている。

また、「パックもの・調理済みのものの増加」など、料理の手間の省略につながる理由についても全世代から上げられている。さらに、世代別に見ても、全体の理由と個別の理由と大きな変化はない。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全世代で見ると傾向はほとんど変わらないが、世代別にみたとき特に50代までの世代が「パックもの・調理済みのものの増加」が平成18年度より割合が増加している。これは、ファストフィッシュの普及によりスーパー等での調理済みの商品等が増えたためだと思われる。

質問：魚を食べる回数（量）が「少し減っている」「大幅に減っている」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？（3つまで）[N=60]



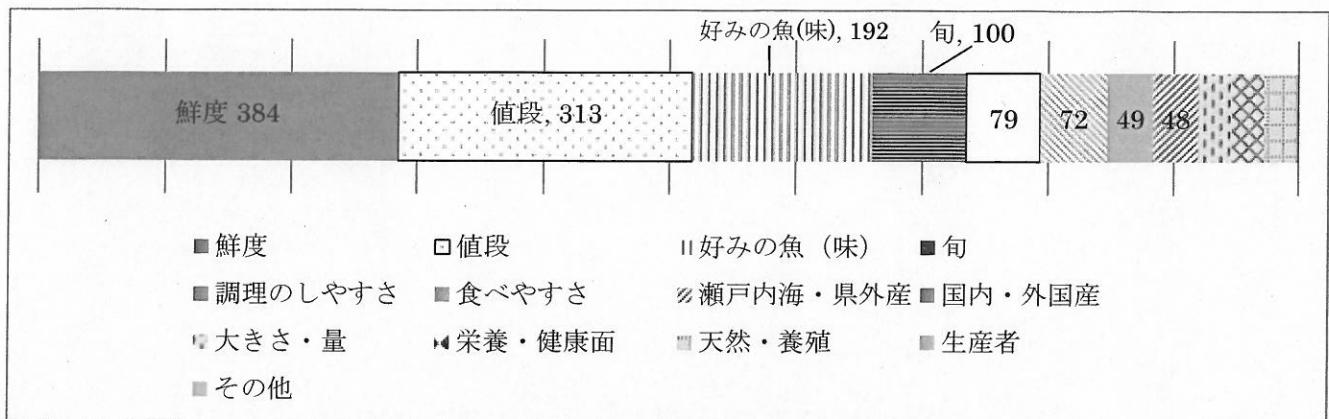
【設問別の傾向】

魚を食べる量が減った理由として、「値段が高い」が最も多く、次に「料理や後片付けが面倒」との意見が挙げられており、特に後者については、実際の台所では、切実な問題となっていることがうかがえる。また、年代別にみてみると、50代までの世代で「調理の仕方がわからない」と答えていたが、60代以上の世代には出ていない。さらに、60代以上に多くみられる「近所に信頼できる店がない」は、より安全・安心・信頼等をPRする等の試みが必要であることが伺える。

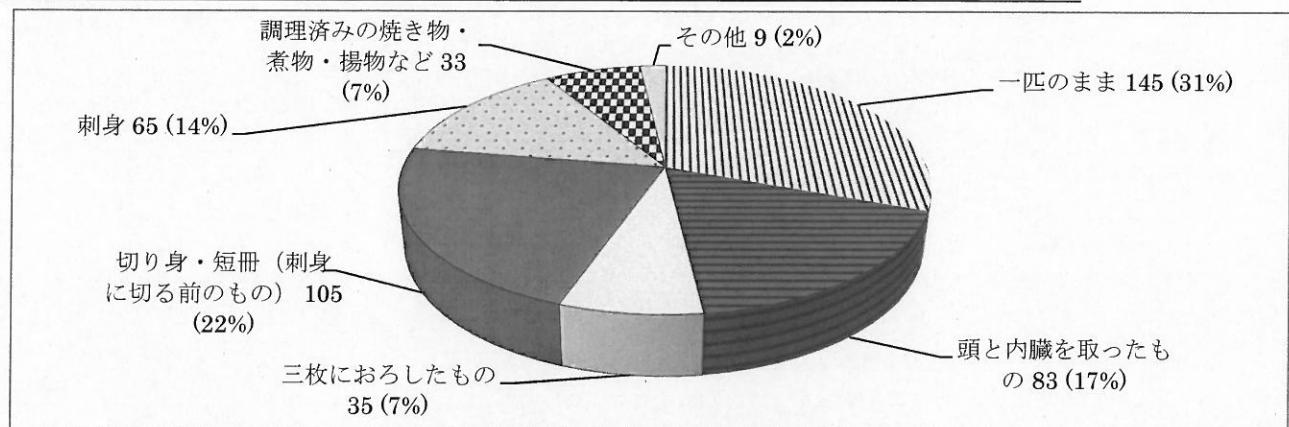
【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体の傾向としては同じだが、前回のアンケートでは、「調理の仕方がわからない」と答えたのは20～30代の若い世代だけだったが、40～50代にも調理の仕方がわからない主婦が増えていることがわかる。
20～30歳代では、料理が面倒とは感じていないが、後片付けが面倒であると感じている極端なデータが出た。

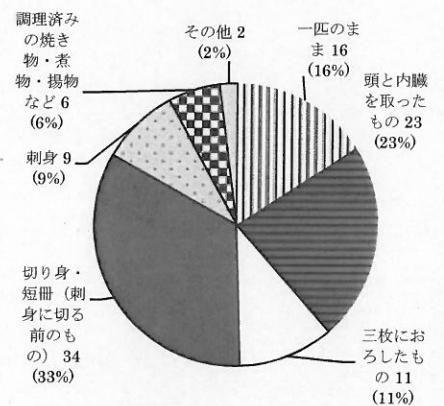
質問：魚を買うとき、どのような点に注意しますか？（3つまで）[N=481]



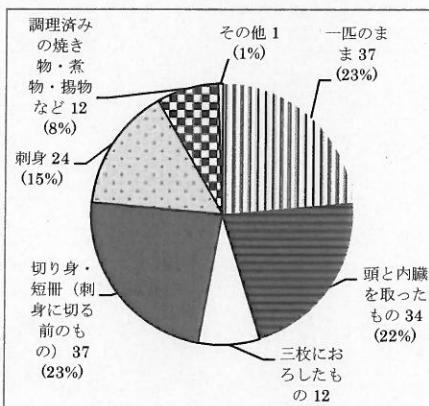
質問：魚を買うとき、どのような状態のモノを多く買いますか？[N=475]



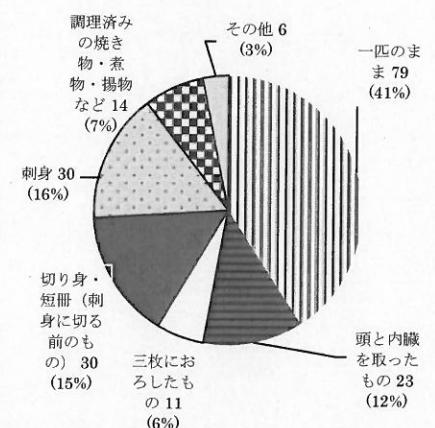
20歳代～30歳代[N=107]



40歳代～50歳代[N=152]



60歳以上[N=193]



【設問別の傾向】

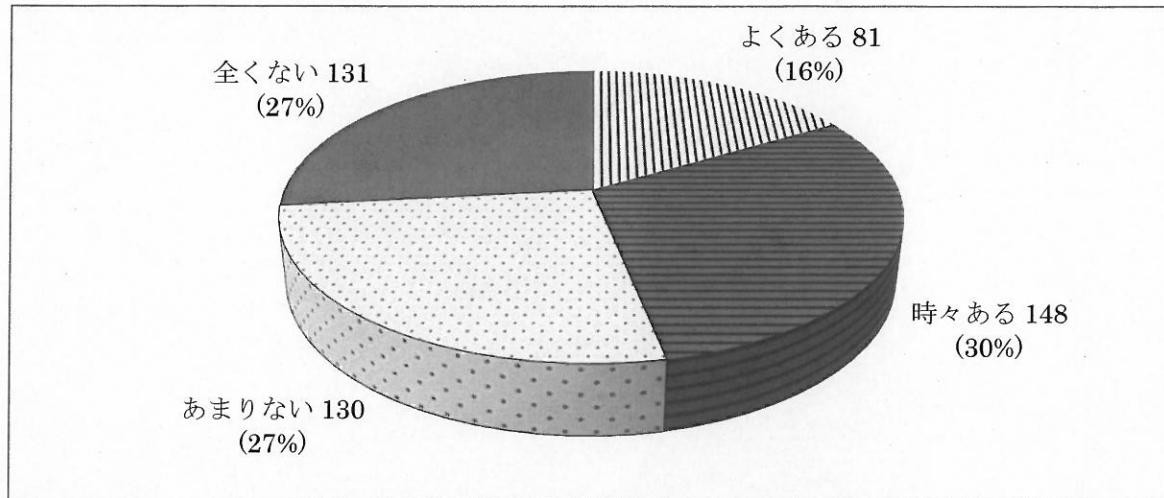
魚を買う時は「鮮度」「値段」「好み」の順で重視されており、この3点で全体の2／3を占めている。

また、購入形態については、「1匹のまま」「切り身・短冊」「頭と内臓を取ったもの」の順になっているが、これについては世代間で大きく異なる。60歳以上では、約40%が「1匹のまま」で多く購入しているのに対し、若い世代では、15%程度にとどまっている。反対に「切り身・短冊」での購入は、60歳以上が15%程度に対し、20～30歳代では、30%を超えていている。

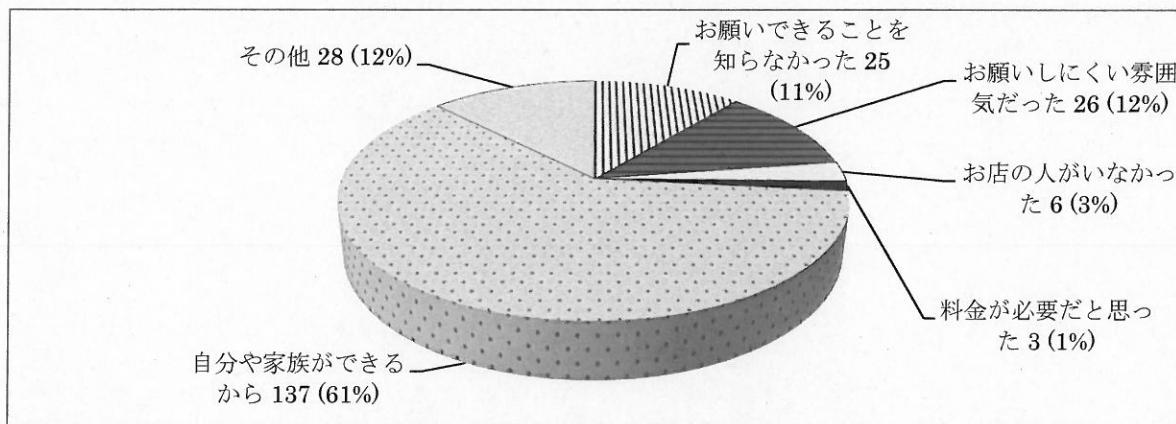
【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体的な傾向は同じであるが、「1匹のまま」購入している割合が5ポイント程度減少しており、特に40歳以上では、10ポイント以上「1匹のまま」の購入が減少している。このことは、スーパー等で加工された魚を購入する人が増えていると思われる。

質問：魚を買うとき、頭や内臓を取り除いたり、三枚におろしたりする下処理をスーパー や鮮魚店にお願いしたことはありますか？ [N=490]



質問：「あまりない」「全くない」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか？ [N=225]



【設問別の傾向】

約半数の人がスーパー等で下処理を「頼む」、「頼んだことがある」と答えている。

頼んだことのない人のうち、約25%が「お願いできることを知らなかつた」「お願いしにくい雰囲気だった」と答えており、裏を返せば、下処理をしてもらえるものなら、活用してもらえる可能性が大きいにあることがわかる。